

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

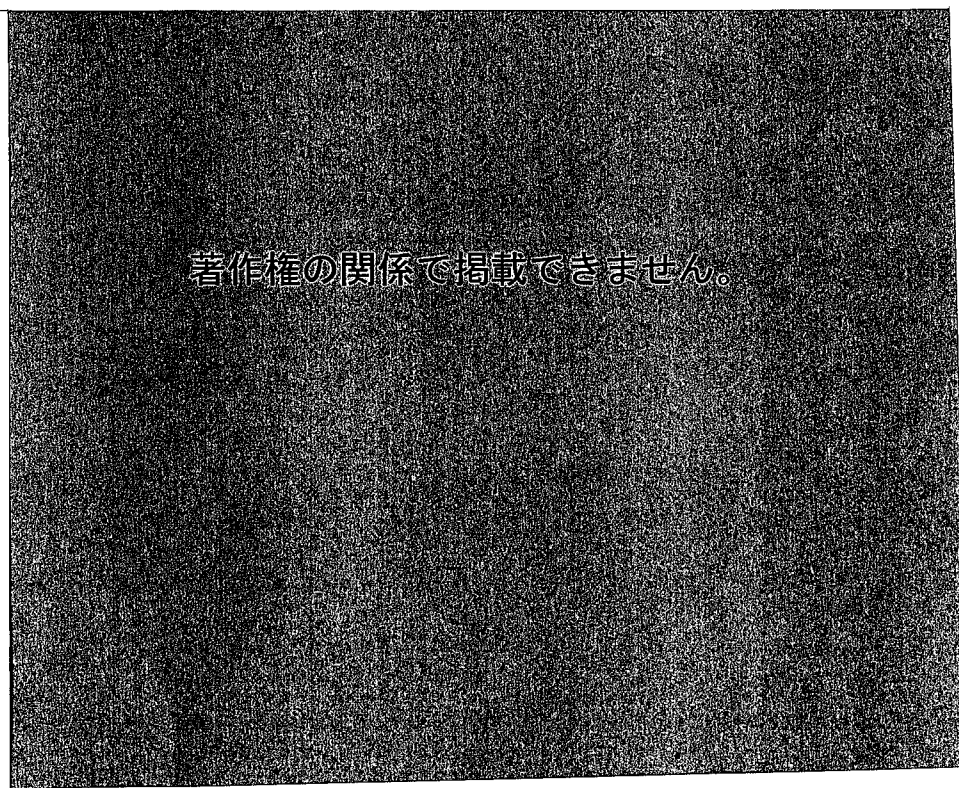
博士前期課程
社会福祉学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(7 - 1)

《解答別紙》《辞書使用不可》

問1 以下は、アルコールと健康に関するグローバルステータスレポートの一部である。
(問1-1) から (問1-3) までの各問に答えなさい。



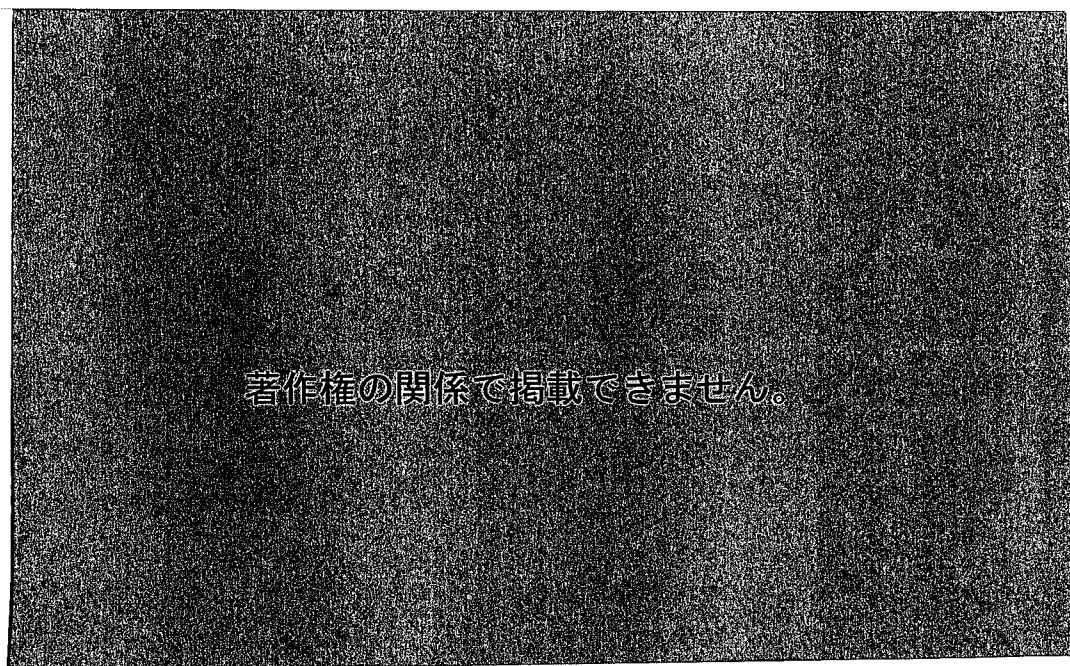
2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
社会福祉学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(4 - 2)

《解答別紙》《辞書使用不可》



問1-1 下線部(1)を日本語に翻訳しなさい。

問1-2 下線部(2)を日本語に翻訳しなさい。

問1-3 Figure1.1を参考に、WHO 地域における FAS と FASD の有病率について説明しなさい。

(出典) World Health Organization, Global status report on alcohol and health 2018, page 5-6

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
社会福祉学専攻 （一般試験）

受験番号	氏名

(4-3)

《解答別紙》《辞書使用不可》

（問2）以下の実践者と研究者のパートナーシップについて書かれた英文を読み、（問2-1）から（問2-3）までの各問に答えなさい。

著作権の関係で掲載できません。

（出典）Peg McCartt Hess, Edward J. Mullen edit. *Practitioner-Researcher Partnerships: Building Knowledge From, In, and For Practice*, NASW Press, 1995, Page 264,265.

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
社会福祉学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(4 - 4)

《解答別紙》《辞書使用不可》

(問2-1) 下線部1. を日本語に翻訳しなさい。

(問2-2) 下線部2. で述べているように、本論文の著者たちは、Jenkin の挑戦に示唆を受け、本書は概念的に次の2つの枠組みに焦点を当ててきたとしているが、それはなにか。具体的に述べなさい。

(問2-3) 著者たちは、結局、実践者と研究者のパートナーシップを築くためにはなにが必要であると述べているか。本論文の内容に即して、要点を簡潔にまとめなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《論文》

博士前期課程
社会福祉学専攻 (一般試験)

受 験 番 号	氏 名

(/ - /)

《解答別紙》

問1 次の(1)(2)のうちどちらかひとつを選択し、解答しなさい。

- (1)「障害の社会モデル」の考え方と特徴とその意義について論じなさい。
- (2) ソーシャルワークにおけるアセスメントの定義、目的、方法、留意点について論じなさい。

問2 次の8つの用語の中から4つを選択して説明しなさい。なお、解答にあたっては選択した番号も記入しなさい。

- (1) 成年後見制度
- (2) 地域若者サポートステーション
- (3) セツルメント
- (4) 特例子会社
- (5) 福祉の社会的分業
- (6) 地域福祉計画
- (7) エコマップ
- (8) 社会福祉法人

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《論文》

博士前期課程
社会福祉学専攻 (社会人試験)
B-1/B-2

受験番号	氏名

(/ - /)

《解答別紙》

問1. 次の(1)(2)のどちらかひとつを選択し、解答しなさい。

- (1) ソーシャルワークにおけるミクロ、メゾ、マクロの実践について、事例を示しつつ、論じなさい。
- (2) 社会福祉法人の現状と課題について論じなさい。

問2. 次の8つの用語から4つを選択して説明しなさい。なお、解答にあたっては、選択した番号も記入しなさい。

- (1) ICF
- (2) 福祉サービス第三者評価事業
- (3) セルフアドボカシー
- (4) 生活福祉資金貸付制度
- (5) インフォーマルネットワーク
- (6) 在宅医療
- (7) 保活
- (8) 包括的支援体制